

東京都 障害者相談支援体制整備事業 事業概要資料

PwCコンサルティング合同会社
2025年10月28日



事業の目的・全体像

目的

- 令和8年度までに設置が努力義務となっている基幹相談支援センターについて、未設置自治体に対し、現状を把握し、設置に向けたアドバイスをを行う。
- また、既設基幹相談支援センターの問題点、疑問点に対し、更なる質の向上及び地域の相談支援体制の強化を図るため、相談支援に精通するアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築に向けた指導・調整等の広域的支援を行う。
- さらに、研修会・意見交換会を開催し、区市町村や基幹相談支援センターの横のつながりを作るとともに、運営課題や意識の共有を図る

事業内容

アドバイス検討委員会
派遣されたアドバイザーが公平かつ正確な助言等
をできるよう検討を実施

研修カリキュラム検討委員会
座学研修等のカリキュラム、開催日時、会場の検討
を実施

1 アドバイザー派遣

- 区市町村にアドバイザーを派遣し、相談支援体制の整備を促進

集合でのプレ会議実施

2 研修カリキュラム検討

- 座学研修のカリキュラムを検討

3 座学研修等実施

- 座学研修、意見交換会、個別相談会を実施

成果物

全体報告書
アドバイザー派遣の実績等、実施内容を取りまとめ

座学研修、意見交換会及び個別相談会実施報告書
座学研修の内容等、実施内容を取りまとめ

実績報告書

アドバイザー派遣や座学研修等でアンケート等を実施し、課題等の分析を取りまとめ

今後のスケジュール

今後以下のようなスケジュールで実施します



アドバイザー派遣の概要

過年度の経験を踏まえ、アドバイザー派遣の進め方について、以下の通り整理しました。

アドバイザー派遣

- ① 事前打ち合わせ
 - ・ 派遣区市町村の決定後、事務局にて派遣先区市町村に事前ヒアリングを行います（本日参加いただいた自治体の皆様には、本日お話を伺いさせていただければと思います）。その内容を踏まえて、アドバイザーと事務局で事前に派遣依頼内容や助言等の内容を検討させていただきます。
- ② 派遣
 - ・ 派遣区市町村等に訪問し、助言・指導等の実施します。
 - ・ 助言の内容は必要により都と協議する想定です。
- ③ 振り返り
 - ・ 簡易派遣報告書（別紙7）、派遣報告書（別紙8）を作成し、アドバイザーが事務局に提出します。
 - ・ 全ての派遣終了後開催いたします全体報告会にて、派遣時の活動内容を確認します。

事前情報収集

- ① 基幹相談支援センターの設置状況・地域情報の共有
 - ・ 設置の有無、設置主体・体制などを確認します。
 - ・ 自治体の皆様におかれましては、本日のプレ会議を踏まえ、シートを作成いただけますと幸いです。

アドバイザー派遣の概要

月1回程度の頻度での訪問が考えられます。

前ページの内容を踏まえ、具体的には、自治体訪問時に次のことを行います。なお、詳細は、各自治体のニーズに基づき、担当アドバイザーとの協議に基づいて決定します。

現状把握

- 地域診断シートを用いた現状把握
 - 開設方針の確認
 - 課題の洗い出し、整理
- 【既開設区市町村】
- ✓ 開設方針、目標からのギャップ、実施阻害要因の整理
 - ✓ 個別課題への対応
- 【未開設区市町村】
- ✓ 現時点での検討状況
 - ✓ 基幹方針確認、投入できる社会資源の整理、阻害要因

対応策検討

- 【既開設区市町村】
- ✓ 課題に対する対応策、具体策のアイデア出し
 - ✓ アクションプラン作成（庁内外含めた社会資源の投入方針検討）
- 【未開設区市町村】
- ✓ 開設までのロードマップ策定
 - ✓ ロードマップ実行のためのアクションプラン作成（庁内外含めた社会資源の投入方針検討）

フォローアップ

- アクションプランの実行状況に関する進捗確認、アドバイス

「地域診断シート」（自治体の相談支援を数値で見える化）

[illegible][illegible]

こんなときは！ 地域福祉コーディネーター にご相談ください！

近所で気になる
人がいる

自分に何か
できることは
ないかな？

「どこに相談したら
いいかわからない…」
をまずは受け止め、
一緒に考えます。

誰かと話したい
けど身近に知り
合いがいない

今後の生活が不安、
まずは話を聞いて
ほしい

みなさんと
一緒に

地域に出向き把握する

さまざまな場所に足を運び、日ごろからの関係づくりに努め、住民などからお話をお聞きし、地域の困りごとなどを把握しています。

みなさんと
一緒に

地域のことを考える

地域のみなさんと一緒に、困りごとを把握したり、「こんなことがしたい」「こんなまちだったら良い」と話し合いをしています。

※ 相談内容によってはすぐに解決に至らない場合もあります。相談者に寄り添い一緒に考えていきます。



地域福祉コーディネーターとは？

地域の生活課題を発見し、地域住民や関係機関と協力しながら地域で支え合う仕組みを作ったり、ネットワークづくりをする福祉の専門職です。令和6年度は、西荻・荻窪・高円寺の3地域に配置されています。

お問合せ先

杉並区社会福祉協議会
地域支援課 地域福祉推進係
(地域福祉コーディネーター)
☎03-5347-1017

杉並区在宅医療・生活支援センター
地域ささえあい連携推進担当

☎03-5335-7315

この取組は杉並区地域支え合いの仕組みづくり事業を受託して実施しています。

取組事例 居場所づくりについて

地域福祉コーディネーター（以下、地域福祉Co）が住民からの相談をきっかけに、住民とともに考える機会を作り、住民同士の交流の場として展開した事例について紹介します。

きっかけ

地域福祉Coが自営業を営んでいたAさんから、「思い出の詰まっているこの場所を使って何かできないか」と相談を受けました。

まずは、Aさんの思いを受け止め、場所を使うイメージなどを一緒に考えることにしました。



Aさんの思いを受け止めて、
寄り添うことを大事に。

支援の展開

地域福祉CoがAさんのお話を聞いていると、「お店にきてくれていた人など、まちの人たちに集まってもらいたい」という思いがあることがわかりました。

そこで、地域福祉CoはAさんの思いを共有する場を作りました。

Aさんに賛同する人や「自分たちが気軽に集まれる場所があると良いと思っていた」という思いがある人と繋がることができ、取り組みに向けて話し合いを重ねました。

一緒に考えてくれる人を
呼びかけたところ…



Aさんの思いに賛同する人が増えていった。

支援の成果

実際に取り組んでみると、集まった人たちからは「なじみのあるこの場所でみんなで集まれてよかった」という声を聞くことができ、Aさんからは「この場所を開くことをみんなが求めてくれているのがわかり、嬉しかった」という気持ちが語られました。

「手伝ってくれる人がもっといると良い」、「〇〇さんがきてくれてよかった。次も声をかけてみよう」と積極的な意見が生まれるだけでなく、閉じこもりがちな人の外出や交流の機会にもなりました。

実際に取り組んでみると…



閉じこもりがちな人にとっての
外出や交流の機会にもなることがわかった。

地域福祉コーディネーターの思い

地域福祉Coは、Aさんの思いと地域で思いを繋げ、負担なく楽しくできる方法を考え、実施できることを大切にしてきました。

地域の皆さんの居場所であり、Aさんの居場所にもなっているこの場所や活動が、生きづらさや孤独を感じている人にとっても交流・参加の機会になると良いと思います。





令和7年度

杉並区地域自立支援協議会トークライブ ～それならわたしもできるかも'25～

令和7年 12月7日(日)

午後3時 30 分～5時(受付開始午後3時)



内容

障害のある人もない人もみんなが住みやすい
社会にするために一緒に考えてみませんか？

① 学校は違うけど同級生！

東原中学校の“**副籍交流**”※について ミニパネルディスカッション

② 仕事も趣味も地域で楽しむ!!

自分らしいいつもの毎日について **知的障害のある方**へのインタビュー

③地域自立支援協議会の活動紹介 など



※副籍交流とは…特別支援学校に在籍する小・中学生が、居住する地域の小・中学校に「副次的な籍(副籍)」を持つことで、直接的または間接的な交流を通じて、地域とのつながりを維持・継続する制度

会場

セッション杉並 3階 第8・9・10 集会室(杉並区梅里1丁目 22-32)

当日は混雑することが予想されます。公共交通機関の利用等にご協力ください。

*東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」徒歩 5 分、「新高円寺駅」徒歩 7 分

*都営・京王バス(阿佐ヶ谷駅・渋谷駅間、渋 66)で「セッション杉並前」下車徒歩 2 分

申込方法

電話・FAX・メール・ウェブページ(LoGo フォーム)にて
お申込みください。※当日参加も可能です

参加無料

(詳細は裏面参照)



①氏名 ②連絡先 ③所属先 ④当日に必要な配慮事項 をお伝えください。

手話通訳・要約筆記あり
点字資料が必要な方は申込み時にお知らせください

締切り:令和7年 11 月 28 日(金)

申込先・問合せ先:杉並区基幹相談支援センター

電 話:03-5335-7672

FAX :03-5335-7679

Email:s-kikan@city.suginami.lg.jp

Web ページ(LoGo フォーム):



FAX 用参加申込書(切り取らずに A4 用紙のまま送信してください)

	氏名	連絡先	所属先	配慮事項
1				
2				
3				
4				
5				

令和7年度部会活動報告（第3回本会開催時点）

資料4

部会名	第2回開催日	内容	今後の予定・方針
計画部会	9/18（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回部会での意見、質問事項に対し、事務局から回答 ・障害者基礎調査について、事務局が作成した調査票案に対し各委員から意見を聴取し、質問内容を検討 ・事務局から今後のスケジュールについて説明 	令和8年2月～3月に第3回部会を開催し、障害者基礎調査の報告を行う
相談支援部会	10/24（金）	個別課題から地域課題への抽出へ至るプロセスの確認 利用者からのニーズ（主訴）の捉え方について再確認	個別課題から地域課題への抽出について、プロセスを含めた方法を確認
地域移行促進部会	10/3（金）	(1) 住宅課係長より居住支援協議会、居住支援法人、セーフティネット住宅についての説明 (2) 居住支援法人と連携した例について、委員2名より事例紹介 (3) 「居住支援法人との今後の連携について」、居住支援法人に聞いてみたいこと、第3回の実施形態、今後の取り組みについてグループワークを実施。	●次回：1月23日（金） ●内容：複数の居住支援法人より事業内容の説明。その後、グループワークにて意見交換や情報交換等を予定。 ●今後の方針：今年度の取り組みを部会内だけでなく地域全体に還元できる取り組みを、次年度検討・実施していく。
高齢・障害連携部会	12/4（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・移行期のリーフレット作成 ・デイサービス併用利用者との意見交換会 	移行期のリーフレット作成
地域生活支援拠点部会	<知的WG> 10/9（木） <緊急WG> 11/7（金）	<知的WG> ①第1回部会（原町成年寮見学）の振り返り②杉並区の知的障害者の地域移行システム構築に向けた意見交換 ・地域移行に向けた体験を区内複数事業所が提供し、チームとなって対象者を支える体制（“杉並モデル”）の構築を目指す ・すだちの里すぎなみ入居者をモデルケースとして進めながら、具体的な課題や必要な資源を明確にしていく ・第3回までにモデルケース対象者の選定と委員を中心としたチームの編成等を行う <緊急WG> ①緊急時支援者派遣事業の居宅介護/移動支援事業所との委託契約状況報告・意見交換②緊急時対応計画の作成状況報告・意見交換③緊急時対応ショート事業等について、区内短期入所のヒアリング結果報告及び体験事例等の利用報告	令和8年1月～2月に第3回の部会開催予定。知的WGと緊急時WGからそれぞれの活動内容について報告、質問、意見交換、次年度に向けての検討を行う。
※第2回未開催のため、再掲 こども部会	6/16（月）	第1期のこども部会は、子どもの育ちにとってのより良い環境となるよう、障害児支援施策の充実につなげるために、各分野の情報をもとに連携にむけた共通の課題を抽出、共有する場と位置付け、（仮称）杉並版トライアングルプロジェクトとして福祉・医療、教育、家庭の連携について整理をすることを確認した。 3グループに分かれて、ライフステージの横、縦の連携について情報共有を行った。	第1回部会で出された意見を事務局にて整理、課題抽出、対応策案を委員に提示し、1/29(木) 部会にて検討予定

第3回本会グループワーク説明資料

概要・目的

選定した 5 つのカテゴリーについて、課題の緊急性・重要性を整理し、なぜその課題が重要だと思うのかを多様な視点で対話し、優先順位等の確認を行う。

グループワークの流れ

1. 個人作業(約 10 分):付箋に自分が重要と思う課題を書き出し、その課題を配布したマトリクス図に配置
※第1・2回グループワークの内容をまとめた参考資料もご参照ください。
2. グループ討議(約 30 分×2 ラウンド):各グループで模造紙に付箋を貼り、配置の違いを話し合う
3. 全体共有(約 20 分):各グループの気づきを発表

グループワークのポイント

- 1 人 2 テーマを検討する。
- グループを移動して多様な視点を得る。
- 正解はない。違いを尊重し、理由を共有する。

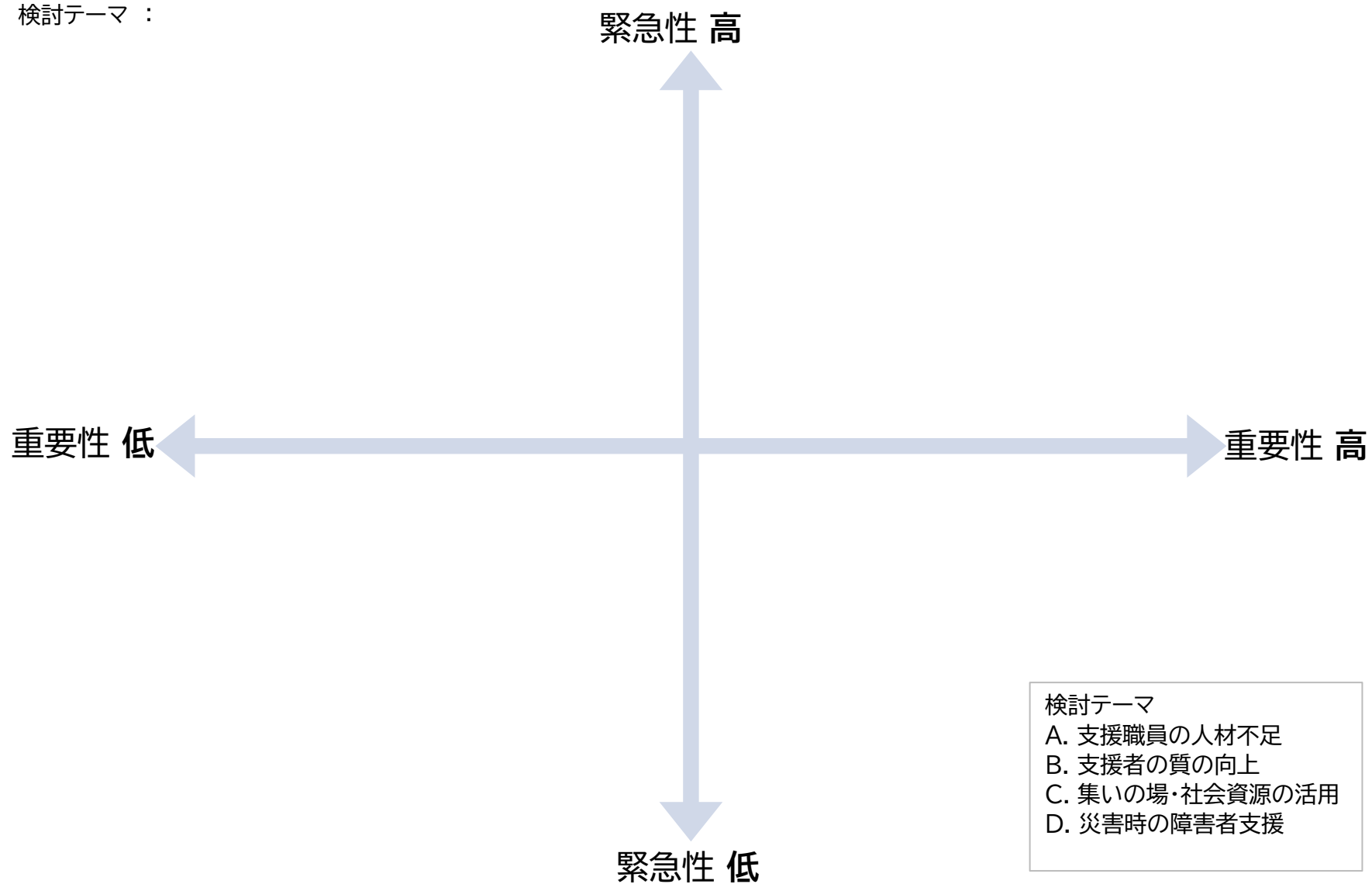
検討テーマ(グループ分け)

カテゴリー	ファシリテーター
A. 支援職員の人材不足	小倉委員、ジングナー
B. 支援者の質の向上	修理委員、石場
C. 集いの場・社会資源の活用	厚地委員、本田
D. 災害時の障害者支援	細貝委員、永沢
E. 当事者意見の反映	相川会長、星野

第3回本会グループワークシート 課題整理マトリクス(緊急性 × 重要性)

資料5-2

検討テーマ :



見本

検討テーマ : C.集いの場、社会資源の活用

